

【8月の休館日】5日(月)・12日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)

# 石岡市立中央図書館 創立 130 周年記念イベント

## ◆歴史講座「筑波山と連歌」

「筑波の道」とも言われた連歌は武士の教養で、佐竹氏周辺の武士も嗜みました。本能寺の変直前の明智光秀の連歌や、筑波山の連歌をとりあげ、連歌という文芸について理解を深めます(生涯現役プラチナ応援事業対象)。

日時：9月7日(土)午後2時～

場所：中央図書館 読書室



申込方法：8月9日(金)

から電話または図書館カウンターに申し込み。

◆講師は綿拔豊昭氏(筑波大学図書館情報メディア系教授)

## ◆筑波大学特別展示

「神話の里と連歌～石岡市立中央図書館創立 130 周年記念企画～」

和歌・連歌に関する古典資料・石岡市地域資料・筑波大学図書館所蔵の地域資料等の展示を行います。

日時：8月1日(木)～9月27日(金)

午前9時～午後5時

(8月10日(土)～18日(日)は閉室)

場所：筑波大学

春日エリア情報メディアユニオン

## 夏休みの

### こども図書館

※夏休み中の平日は午後7時まで開館しています。としかんクイズラリー

▼達成者には素敵なプレゼントがあります。

日時／8月1日(木)～11日(日)

対象／小学生・中学生

わおんかいのおはなし会

日時／8月23日(金)

午後1時30分

ビブリオバトル参加者募集

日時／8月25日・9月8日(日)

午後2時

場所／中央図書館 読書室

申込方法／図書館窓口へ直接

または電話申し込み

## おはなし会

こども図書館本の森

おはなし玉手箱 8月3日(土)

おはなし会 8月17日(土)

ひよこのおはなし会

8月8日(木)

※時間はすべて午前10時30分から

## 中央公民館

おはなしフレンズ

8月10日(土) 午後2時30分

## 時の記憶

シリーズ 161

### 昭和 49 年茨城国体

～旗・炬火リレー～

問文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線 1324)



国体とは、都道府県持ち回りである。毎年開催されている国内最大のスポーツ大会です。都道府県対抗方式で行われ、「天皇杯」と、「皇后杯」で優勝を目指します。

第一回目の国体が開催されたのは、昭和21年。戦後の混乱期の中で国民に勇気と希望を与えるために近畿地方で開催されました。

第二回以降は都道府県持ち回り開催となり、茨城県では昭和49年に第29回国体が開催されました。そして、今年45年ぶりに開催されます。

オリンピックの聖火にあたるものを国体では「炬火」といいます。第29回国体では原子力東海研究所(科学の火)、筑波山(自然の火)、鹿島神社(伝統の火)の三か所で採



府中中学校前の道路を通る旗・炬火リレー (提供：太田晃氏)

火され、県内を一週間にわたってリレーされました。石岡市では「伝統の火」を引き継ぎ、大勢の市民の声援をうけ、石岡地区では、中学校3校、高校3校の生徒が走者として、八郷地区では、中学校4校、高校1校の生徒と青年団が走者としてリレー。大会旗とともに約一万八千人の県民の手によって届けられた3つの火は県庁で集火され、「まごころの火」となり開会式で点火されました。ふるさと歴史館では、昭和49年茨城国体を紹介する企画展を開催します。

## 昭和49年茨城国体の足跡

— スポーツの普及と充実 —

期間／8月6日(火)～

11月4日(月)祝

場所／ふるさと歴史館

(総社1・2・10)

※月曜休館(祝日の場合は翌日)

俳句

いしおか俳句同好会

貝地ひら小池 つと夢  
ひきがへる万年平の面構へ  
東大橋 醍醐 正夫  
ちやぶ台におひつがのつて豆  
の飯

北府中 高木 忠雄  
運もまた生きる力や雨蛙

太田 根岸 基美  
白靴を下す日の朝笑みこぼる

北府中 野村 畝津子  
生きるとは家を背負ってかた  
つむり

やさど俳句会

太田 越智 旅舟  
晩学は長寿の薬ラムネ飲む

細谷 松崎 淑子  
夏の句座公民館に風すぐる

部 原 中島 れい子  
どこまでも続く青田や遠き山

短歌

石岡短歌同好会

山崎 若色 茂  
身に着けるものは綺麗にと言  
いていし散歩の翁にしばらく  
会わず

東大橋 醍醐 正夫  
北斎の読み本挿絵開き見て表  
わるる妖怪にぎよつと驚く

南台 田村 満佐

高原の五月の風がさはやかに  
入り来るなりバスの窓より

八郷短歌会

柿岡 小林 渥子  
声だけは元氣と電話を仲立ち  
に共通の話題ふくるるばかり  
月岡 菱沼 む免子  
高校生が育てたという花の苗  
シニアの我等花壇に植える

俚謡

石岡俚謡会

川又 関 清志  
朝に目覚めて 蕾が開く  
蝶が恋する 夏の庭  
貝地 前島 くに子  
明けた令和に 心が弾む  
家族揃って 祝い膳

石岡 石塚 芳華  
初夏の俎板まな板 いい音たてて  
妻が捌いた 初がつお

鹿の子 田村 こまくさ  
山は一面 緑に萌えて  
生きる力に 溢あふれてる

東光台 福田 泰夫  
富士を背にして お茶摘む母の  
味も香りも 日本一

杉並 助川 浩史

明日を夢みる 百才時代  
日々を楽しく 生きている

国府 篠原 美千代  
欲を出さずに 真つすぐ道を  
行けば躓く 石は無い

下林 加藤 弥生  
久慈の谷間の 気温と風で  
育つ茶の香の 味を出す

府中 稲田 すみ  
年を重ねて いるけど若い  
色香残した 祖母の顔

川柳

いしおか川柳会

大増 小川 義隆  
青春の悩みは何かほろ苦い  
青田 桜井 紀美子  
もつたない世代が違う嫁姑  
石岡 高橋 佐智子  
孫帰る家中全てミルク色

投稿作品

〈俳句〉

真家 川崎 夫久  
摘み取れば水のしたたる花茗荷

山崎 鈴木 君江  
遅れ花 一つ咲かせて木蓮の  
夏日耀ふ水無月ひと日

第12回 石岡囃子連合保存会

文化協会だより

昭和46年に発足した当会は、平成30年に10団体から15団体へ団体数を増やし、精力的に取り組んでいます。

土橋町の獅子舞と、テンポのはやい三村流・ゆっくりテンポの染谷流で山車囃子を伝承しています。昭和55年に「石岡ばやし」として、茨城県指定無形文化財に指定されました。

常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）をはじめ、国内の大きなイベントや海外遠征など数多く出演しています。

各支部においては、「石岡ばやし」の伝

統を保持し、後継者育成に力を注いでいます。

会員／800名 年会費／10000円（団体）

石岡囃子連合保存会（一毛芳昭）

TEL 23-8130

